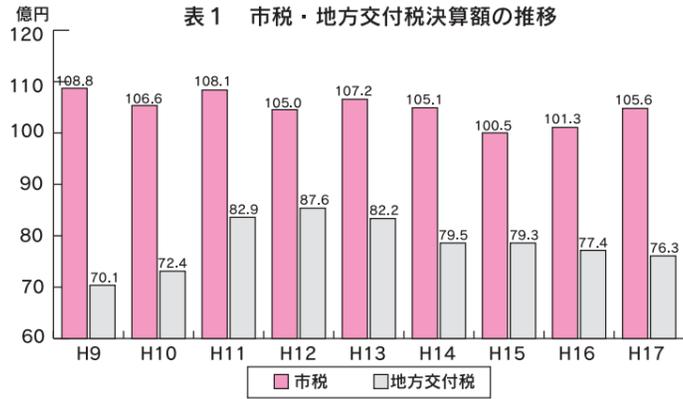


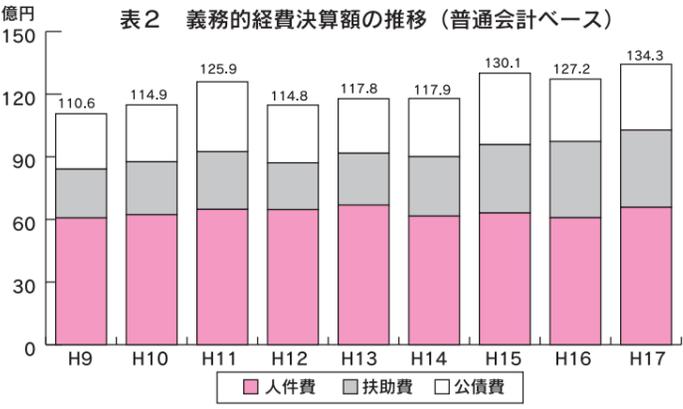
市財政の現状と対応 ~厳しい財政状況の中で~



長浜市の歳入の約3割を占める市税収入は、景気低迷や地価下落等の影響により、市民税や固定資産税が伸び悩み、平成9年度をピークに減少傾向にあります。平成17年度は、景気の回復や税制改正の影響を受けて増収となったものの、地方交付税が減収になるなど、厳しい財政状況となりました。(表1)

今後においても、歳入の増加は期待できず、厳しい状況が続くことが予想されます。

減少する歳入



歳入が減少傾向にある一方、退職金を含む人件費や借入金の返済費用である公債費、福祉関係の扶助費といった義務的経費は、少子高齢化の進展などにより、年々増加する傾向にあります。(表2)

この義務的経費は、大幅な削減が困難であり、新しい課題等に的確に対応するための財源が不足する一因となっています。

増加する義務的経費

① 事務事業の合理化・効率化
各種の事務事業については、内部経費の削減や、実施手法の見直しにより、合理化・効率化に取り組んでいます。

② 歳入の確保
新たな財源の創出などによる歳入の確保については、広報紙や市ホームページ等への有料広告の掲載を行っているほか、各種講座受講料などの見直しも実施しています。

③ 指定管理者制度の導入
公の施設の管理に民間の能力を活用し、低いコストで高いサービスを提供することを目的とした指定管理者制度を、現在44の施設において導入しています。

今後も合併によるスケールメリットを最大限に生かし、各種事業の合理化、効率化を図ることにより、健全な行財政の運営と市民福祉の向上に努めていきます。

健全な行財政運営に向けて

市民一人あたりの決算額と主な事業

【 】内は歳出全体に占める割合
◆は平成17年度に実施した主な事業

総務費 [22.3%]	民生費 [19.9%]	教育費 [12.1%]	土木費 [11.8%]
<p>統計、選挙、自治振興、交通対策などに</p> <p>91,972円</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆合併関連経費(庁舎、電算システム整備) ◆国勢調査 ◆自治会館建設補助事業  <p>改修した長浜保健センター</p>	<p>児童、障害者、高齢者の福祉の推進などに</p> <p>82,086円</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆児童遊具設置 ◆公立・私立保育所運営 ◆障害者支援費サービス ◆福祉医療費助成  <p>世代間交流遊具(浅井文化スポーツ公園)</p>	<p>学校等の整備や文化スポーツの振興などに</p> <p>49,846円</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆長浜南小学校改築 ◆下草野小学校特別教室増築 ◆びわ南小学校図書室整備 ◆英語教育推進事業  <p>びわ南小学校図書室整備</p>	<p>道路、公園、市営住宅などの整備推進などに</p> <p>48,778円</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆長浜駅舎整備 ◆JR直流化負担金 ◆高山地区急傾斜地崩壊対策  <p>新長浜駅舎</p>
公債費 [10.0%]	衛生費 [10.0%]	消防費 [3.8%]	その他 [10.1%]
<p>借りたお金の返済に</p> <p>41,294円</p> 	<p>ごみ、し尿の処理や健康管理などに</p> <p>41,084円</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ごみ処理・リサイクル事業 ◆予防接種事業 ◆老人保健対策(基本健康診査、各がん検診ほか)  <p>Jr.環境塾(姉川にて)</p>	<p>消防や救急業務などに</p> <p>15,480円</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆防災行政無線整備 ◆耐震性防火水槽設置 ◆湖北消防組合準備経費  <p>防災行政無線の屋外拡声器(湯田公民館)</p>	<p>産業の振興などに</p> <p>42,072円</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆バイオインキュベーションセンター整備 ◆ほ場整備等改良区補助 ◆経営体育成基盤整備  <p>バイオインキュベーションセンター</p>

バランスシートとは、今までに整備した学校、福祉施設、道路などの資産と、そのために必要なお金を対比して、市民全体の資産や負債の内容を説明したものです。

借方	貸方
<p>1. 有形固定資産</p> <p>322億8,893万円</p> <p>(1) 教育費 302億6,648万円</p> <p>(2) 土木費 226億1,521万円</p> <p>(3) その他 計 851億7,062万円</p> <p>(うち土地) 247億4,552万円</p> <p>2. 投資等</p> <p>39億8,321万円</p> <p>(1) 投資及び出資金 37億6,583万円</p> <p>(2) 貸付金 24億7,017万円</p> <p>(3) 基金 計 102億1,921万円</p> <p>3. 流動資産</p> <p>79億2,110万円</p> <p>(1) 現金・預金 6億5,240万円</p> <p>(2) 未収金 計 85億7,350万円</p> <p>資産合計 1,039億6,333万円</p>	<p>1. 固定負債</p> <p>324億9,409万円</p> <p>(1) 市債 42億4,586万円</p> <p>(2) 退職給与引当金 計 367億3,995万円</p> <p>2. 流動負債</p> <p>26億7,266万円</p> <p>翌年度償還予定額 負債計 394億1,261万円</p> <p>正味資産</p> <p>109億2,809万円</p> <p>1. 国庫支出金 54億6,739万円</p> <p>2. 県支出金 481億5,524万円</p> <p>3. 一般財源等 計 645億5,072万円</p> <p>正味資産合計 負債・正味資産合計 1,039億6,333万円</p>

今まで建設してきた学校、保育所、道路などの施設や土地などです。土地以外の資産は減価償却後の価格です。

関係団体への出資金や決まった目的のために積み立てている基金です。

現金や預金のほか、必要なときにすぐに現金にできる基金や、市税などに納めていただくお金のうちもらえていないお金です。

いままです学校や道路などを建設するために、銀行や国などから借りたお金(市債)の残額です。

職員が全員退職した場合の退職金の総額です。実際は今すぐに支払うものではありませんが、将来必要なものとして計上しています。

翌年度(H18年度)に返さなければならない借金です。

いままです建設してきた学校や道路などの財源としたもののうち、将来返済を要しないものです。(資産から負債を引いた金額になります。)

平成17年度のバランスシート

〔長浜市の貸借対照表〕